

藝文学苑 オープン講座

「水戸学」を生んだ寛政改革 — 一橋治済、徳川治保と松平定信 —

講 師 永井 博（元茨城県立歴史館史料学芸部長）

将軍家斉の父一橋治済と御三家の推挙という異例の形で老中となった松平定信は、寛政の改革を推進する。そのなかで水戸藩主徳川治保とは様々な政治課題について意見交換をしていくが、それは、政治学としての「水戸学」を生む契機となっている。定信の老中就任の過程と治保との交流、藤田幽谷、立原翠軒との関係について解説する。



講義日／1月31日 土曜
時 間／10：00～11：30
回 数／1回
受講料／1,100円（税込）
会 場／水戸教室